

我がマラソン人生

武藤 彰さん

前日に金の鯨(シヤチホコ)マラソンに参加、二二三回目のフルマラソン完走を成し遂げたばかりの武藤彰さん(66歳)への取材となった。日焼けし引き締まった凛とした姿からは、完走の疲れなど微塵も感じられない。

武藤さんは昭和一六年金沢市で誕生、大学卒業後三洋電機に入社、兵庫県での社会人生活が始まった。一流会社の技術畑での二〇年に及ぶ仕事の疲れから仕事に悩み、血圧も上がり睡眠も十分取れない、食欲も鈍る、肥満になる等々正に生活習慣病といえる体になっていく。「これではいけない」と一念発起し体力づくりには「ジョギングを始めたのが『マラソン人生』のスタート。目標は無謀にも、ホノルルマラソン参加。」

「これほどまでにこのマラソンが私の人生観を変えたことはなかった」と、四四歳でホノルルマラソンに参加、四時間四三分二〇秒で完走したときのことを振り返る。以後、武藤さんはいつも好奇心を持ち、感動を忘れない。「青春とは心の若さ。心に夢を持ち、希望を持ち、目標をもつて生きていけばいつまでも若くいられる。素晴らしいこの健康的な世界、それを知らない多くの人に伝えていきたい」と熱っぽく語る。

平成一八年四月、フランス・パリマラ



祝 武藤翔輝さん(岐阜県)
100回フルマラソン完走おめでとう

ソンでフルマラソン二〇〇〇回完走を達成している。目標は七〇歳までにフルマラソン二〇〇〇回完走。国の内外を問わず今後も走り続けると強い覚悟。ぎふ長良川走ろう会、犬山走友会、フル百回楽走会に所属し目標達成に向け挑戦中。

意外や意外あの苦しいマラソンの最中にも、脳内エンドロフィンの分泌

が促され色々なアイデアが次から次へと浮かんでくるという。そのアイデアが基で特許や実用新案を何件も取得するなど思わぬ副産物も生んでいるとか。

(羽島市在住)



武藤 彰さん数々の偉業

- ・世界七大陸フルマラソン制覇 (日本人二人目)
 - ・日本三霊山 (立山・富士山・白山) 海拔ゼロから頂上まで制覇 (世界初、ギネスDB登録)
 - ・四七都道府県国盗りマラソン達成 (岐阜県在住者初)
- フルマラソン自己ベスト
三時間二〇分五〇秒